

線と結んで抜けて行くかの2つの考え方があります。函館本線では現在の七飯町付近となり、江差線であれば上磯駅付近を通り抜けて行きます。新幹線は騒音を発するので近接した郊外に止めるべきである。

飛行場は現在2000mに拡張工事中です。47年春には完成してジェット機の727, 737が飛ぶ様になると思います。

将来千才が国際空港になるとすればその代替空港として考え同時に近距離の国際線としてソ連或いは東南アジア等との基地として考えていきたい、そうなるともう1000延長し3000mとして拡張出来る様考える必要があります。現在の函館は港によつて築かれましたが将来の函館は此の飛行場をプラスして新しい函館を積み重ねられる事を判断しております。

港湾に於ても工業港、貿易港を新しく造り上げ函館新港を造る計画であります。

＊ 幹事報告

1. 本日例会終了後理事会を開きます。理事の方はお残り願います。
2. 5月18日の松前クラブのチャーターナイトには車でおいでの方もありましようが市内の3クラブ共同で朝9時17分の急行を団体で借り切っておりますのでおいでの方はなるべく早目に此の列車御利用の方は私の所まで御申し込願います。
3. 1月から3月までの会費未納の方は未だ6名おります。至急御払込願います。
4. 4月から6月までの会費360円追加分を御案内してございます。お願いいたします。

＊ 出席報告

本日の出席	会員44名	欠席9名	出席35名
前回の出席	会員42名	合計40名	95.24%
他クラブ状況	4月22日	函館東R, C	95.18%
	4月24日	函館R, C	96.52%
4月平均	函館東R, C	95.8%	函館R, C 95.65%
	函館北R, C	95.25%	

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第263号

1968~1969-5-21

函館北ロータリークラブ

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第249回例会

本日のプログラム

映画 「空から見たアメリカ」

第248回例会記録 — 1969-5-14

- ＊ 司 会 深瀬会長 ＊ 斉 唱 我等の生業
- ＊ ゲ ス ト 古宮守雄君 (函館ドック造船部長)
蝦名啓史先生 (港中学校)
大月富喜子先生 (青柳小学校)
- ＊ ビジター 馬上正美君 (小名浜R.C. 漁業)
横田善三郎君 (塩釜R.C. 漁業)
鈴木隆男君 (塩釜東R.C. 漁業)
大浦兼治郎君 (稚内R.C. 漁業)
梅村助信君 (四日市R.C.)
宇野良太郎君 (森野R.C. 金型製造)
秋田克彦君外10名 (函館R.C.)
渡辺熊四郎君外8名 (函館東R.C.)
- ＊ 感謝状授与
蝦名啓史殿
大月富喜子殿
- ＊ 蝦名啓史先生謝辞

この度は有難うございました。これは私達の学級或いは学校或いは函館市のため、恵まれない小供達の為に代行して受けたのだとの気持ちで受けさせて頂きました。これからも頑張りたいと思います。

＊ 大月富喜子先生謝辞

この度はこの様な晴れの席で身に余るお言葉や記念品を頂戴致し有難うございました。此の道の教育に入つていさゝか年数が経つたというわけであつて、この御厚意をお受け出来る資格があるかどうか今反省しております。大変有難く感謝申し上げます。今

日の感激を忘れないで大変微力ではありますが今後共せい一杯頑張つて行きたいと思ひます。心から厚く御礼申し上げ御挨拶に変えさせていただきます。

* 坂田神生会員挨拶

理事会の方で七坂に新クラブを結成するに当り特別代表になれとのロータリーの敎命があり、一度は考えましたがお引受け致しました。島本ガバナーから委嘱状が参りましたので大いに頑張りたいと思ひます。それにつきまして新会員、速藤会員、外山会員、木屋会員、下郡山会員等から特に御協力を頂くメンバーになつて頂きましたのでこれから一生懸命に特別代表としての務めを果たしたいと思ひます。どうか北クラブ全体、函館東クラブの方々にも御指導御教授を頂きまして此の大任を果たしたいと思ひます。

* 幹事報告

松前クラブのチャーターナイトにおいでの方はお聞き願ひたいと思ひます。当日は急行列車を団体で借切つております。函館駅の出口の方に8時40分まで御集合頂きます。料金は700円、お子様は半額の350円です。料金は当日列車の中で頂戴致します。出発時間は9時17分松前急行です。松前到着は11時20分です。お帰りは松前を17時40分出発、函館到着は19時50分です。何か御質問がありましたら幹事までお願ひします。

* 卓話 "今後の造船界" 函館ドック造船部長 古宮守雄氏

今現在世界の造船界はどのような状況にあるかという事を説明させて頂きその中で日本の造船界はどうか、又その中で函館ドックの位置はどの辺にあるか、今後函館市に対しどのような責任の一端を負ふ事が出来るかといった事を私自身の考えを混ぜ乍ら述べて見たいと思ひます。

造船は戦前は不安定な産業でありまして戦争中は景気のよい産業でございまして平和になりますと造船所にベンベン草が生える。事実函館造船所もその様な経験をもち誠に不安定な産業でありました。将来共若し造船業が不安定な産業であるなら我々は今からその準備をして置かなければならないのでありますが果して今日はどうかそれから話して見たいと思ひます。1969年世界の人口は国連の発表では約32億人となつています。この人口の伸び率は年2~

3%づつ伸びるそうで今後20~30年の間に人口は60億になつて了います。戦後20年で日本は我々の予測もしない大発展を遂げましたが東南亜細亜や南アメリカの一部には依然貧困と飢餓に悩んでいる国例えばインド等はそうですが常に逆境にあり、インデラガンジー首相が先頭に立ち国民の文化向上に日夜努力しております。世界の国々は皆人口増加と共に国民の発展を願つております。そうなりますと日本が現在直面しております様に消費が増えます。物の生産をしなければなりません。これは大変な数字で伸び誰も想像出来ないといつた率で消費と生産が停まる所を知らずに伸びると考えられます。此の様な中で日本はどの様な状態かと云うと日本はアメリカの次であり世界第2位であるというのが日本の現状であります。鉄鋼も亦近い中に世界第2位になります。しかし日本には鉄鉱石がありません。ありましては硫黄を含んでおり、鉄の中に硫黄が含まれますと鉄は脆くて使いものになりません。したがつて日本の鉄鉱石は残念乍ら使い物にならないと云つていいわけです。そうなりますとこの鉄鉱石を世界各国から買付け運ばねばなりません。又鉄を作るには粘結炭が必要です。これも日本にはありません。更に石灰石も必要で多少はあつても足りません。マンガン、アルミニウム、シリコン等皆然りです。これ等を運ぶのには船が必要であります。又コストの面で安く運ぶ為には大型船が必要になり現在では15万吨という大きいのが計画される様になりました。こうして鉄材その他によつて作られた各種の品物を日本丈で消費するわけにはいきません。これを又世界各国へ売却、輸出する事になり、船が必要になります。従つて造船界は完全な安定産業であると考えております。昨年度は全世界で1700万吨の船が出来上りましたが、此の中日本では860万吨の船を造りましたので約51%弱の船を日本丈で造り上げた事になります。そうした点におきまして日本は世界第一位になつております。この第一位になり始めたのは今から13年前で日本は大変努力を致しましてイギリスから此の王者の位置を奪還してから今日までずっと此の王者の位置を続けております。将来とも此の首位の地位を他に譲る事はないと云う事を確信のもとに仕事を進めております。第2位は西ドイツで135万吨を造つております。第3位スエーデンで111万吨、イギリスは90万吨です。

我々の函館ドックでは昭和42年度に12隻約22万屯、昨年度は21隻26万屯を造り日本全体の3%弱にしかなりません。しかしこの3%の中に昭和42年に造りました7万5千屯の自動化を計つた船、これは世界的に画期的な事をやつて退け、技術的に誇を持っております。今年は28万屯から30万屯に増やせる予定で140億円の生産高を上げる事が確実に45%が函館市に落ちる事になります。

又最近になりまして20万屯の修繕ドックを函館に作る事になりました。数年後には長さ320m、巾50m、深さ11mの立派な大きなドックが出現致します。函館市の発展共々我々も発展して行きたいと念願し今後共よろしく御指導御鞭撻下さる様お願い致しますして私の話を終らして頂きます。

* 出席報告

本日の出席	会員44名	欠席10名	出席34名
前回の出席	会員44名	合計43名	97.73%
他クラブ状況	5月1日	函館R.:	95%
	5月6日	函館東R.	90.84%
4月出席	140%深瀬会員、	12%遠藤、平野、角谷、	
	俣野、杉本、下郡山、新、高杉、戸栗、外山、	小村会員等	
	80%6名、	60%1名	

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算才264号
1968~1969-5-28
函館北ロータリークラブ

第250回例会

例会場 函館拓銀ビル
例会日 毎週水曜日
12,30~13,30

本日のプログラム

卓 話 函 館 百 年

函館護国神社宮司 真崎真次

ロータリー綱領の変遷(その1) ロータリーの友より

ロータリー綱領と云うのは、国際ロータリー及びロータリークラブ定款才3条に示めず原語のObjectのことであります。此のObjectの訳語については色々な意見が伺われますが、あらゆる事情を考慮した結果、綱領と云う言葉を採用することになつております。ロータリーが創始されたのは、1905年2月23日ということになつておりますがその時には未だ確定した定款とか細則のようなものはできておらず、またそのクラブもロータリーとはいつておらなかつたのであります。クラブの出来た当座は通称ブースタークラブといつていたようです。その内にその呼称もロータリーとして、その定款や細則が出来たのであります。その最初の定款が出来、刊行されたのは、1906年の1月であります。その中に2つの綱領を掲げております。即ち

才1 会員の職業上の利益増進

才2 親交と社交クラブに普通付帯する望ましい事物の増進

と云うようなことで、主として会員自体の関心事だけでありました。処がその年の内に、これに才3の綱領を付け加えました。

才3 シカゴ市の最善の利益振興と会員間に市民としての誇りと忠誠の精神鼓舞、ここではじめてロータリーの社会奉仕が芽えたのであります。この綱領は、その後1910年6月まででできたクラブが総てが採用しました。

1910年の8月に、ロータリークラブ全国連合会ができたことによりまして、次のような5つの綱領が採用されました。

才1 アメリカ合衆国におけるロータリークラブの加入する組織によつて、ロータリーの原則を拡大発展せしむること。

才2 全アメリカ合衆国内加入ロータリークラブの業務と原則を統一すること。

才3 市民としての誇りと忠誠を喚起し且つこれを奨励すること。

才4 進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること。

才5 加入ロータリークラブの個々会員の商業上の利益を増進すること。

この綱領で職業上の道義昂揚に着目したのは一つの進歩であります。1912年にロータリーがアメリカ合衆国以外に拡大され、全国連合会が国際ロータリ